

『小学音楽 音楽のおくりもの 6』評価計画（案）

6年 p.4～5

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌 唱	器 楽	音 楽 リ	鑑 賞
＜導入＞ 「つばさをください」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「つばさをください」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○	○	○	○
	(2) 旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「つばさをください」を歌う技能を身に付けている。 ○	○	○	○
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「つばさをください」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ○	○	○	○

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌 唱	器 楽	音 楽	鑑 賞
＜スキルアップ＞ 「バナハ」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「バナハ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解している。	○			
			【技-①】 呼吸や発音の仕方に気を付けて、「バナハ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、「バナハ」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 声の重なる響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 声の重なる響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌 唱	器 楽	音 楽	鑑 賞
＜スキルアップ＞ 言葉をもとにリズムで遊ぼう！ (毎時扱い)	(1) 言葉の響き、リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 言葉の響き、リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	
			【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) リズムの重なりや強弱・速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へ構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リズムの重なりや強弱・速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へ構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	(3) 言葉を生かして音色や強弱をさまざまに試し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 言葉を生かしてリズムアンサンブルの音色や強弱をさまざまに試し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くにっぼんのうた みんなのうた> 「おぼろ月夜」 (共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「おぼろ月夜」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○		
	(2) 旋律や旋律のもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「おぼろ月夜」を歌う技能を身に付けている。	○		
	(3) 歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「おぼろ月夜」の旋律や、旋律のもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
			【主-①】 「おぼろ月夜」の歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
短調のひびき (3 時間扱い・4～5 月)	(1) 曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
			ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりしている。		○		○
	(3) 長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、転調する音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い 時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、長調と短調の響きや速度の変化が生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫したり、曲全体を味わって聴いたりする。	マルセリーノの歌 ◎ハンガリー舞曲 第5番	○「マルセリーノの歌」を演奏し、イ短調とハ長調の違いについて理解する。 ○「マルセリーノの歌」をパートに分かれて練習し、合奏する。 ○調性の変化に気付いて「ハンガリー舞曲 第5 番」を聴いたり、「マルセリーノの歌」を合奏したりする。	【知-①】 「マルセリーノの歌」の曲想と、調など音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 【主-①】 「マルセリーノの歌」の長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
演奏のみりよく (4時間扱い・5～6月)	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
			各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			○
	(3) 演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラや合唱の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と強弱などとの関わりについて理解するとともに、演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎交響曲第5番「運命」第1楽章から	○交響曲第5番「運命」第1楽章をオーケストラの響きを感じ取り、「タタタターン」の音型を意識しながら聴く。 ○冒頭を、数種類の演奏で比較鑑賞したり、第1楽章全体を演奏表現に気を付けて聴いたりする。	【知-①】 「交響曲第5番」の曲想と、強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】 演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けるとともに、旋律や音の重なりが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	ぼくらの日々	○「ぼくらの日々」を、曲の特徴を捉えて二部合唱する。 ○自分たちの表現を目指して合唱する。	【技-①】 「ぼくらの日々」を各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。 【思-②】 「ぼくらの日々」の旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜めざせ 楽器名人＞ 「The Sound of Music」 (毎時扱い・6～7月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「The Sound of Music」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。		○		
			【技-①】 各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて「The Sound of Music」を演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) リコーダーの音色や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リコーダーの音色や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 声部の役割や全体の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダー・アンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 声部の役割や全体の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<音のスケッチ> 動機をもとに音楽をつくらう (4時間扱い・6～7月)	(1) 動機の変化のさせ方やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、リズムや音の高さを変化させて短いフレーズをつくったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 動機の変化のさせ方やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。		○	
			【技-①】 音楽リズムや音の高さを変化させて短いフレーズをつくったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付けている。		○	
	(2) 音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。		○	
	(3) 動機の変化のさせ方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、動機をもとにした旋律づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 動機の変化のさせ方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
くにっぽんのうた みんなのうた> われは海の子 (共通教材) (1 時間扱い・7 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「われは海の子」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「われは海の子」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「われは海の子」の旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「われは海の子」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌 唱	器 楽	音 楽 づ くり	鑑 賞
ひびき合いを生かして (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
			各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 楽器の音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	楽器の音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱を楽しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
4	曲想と声部の重なりなどとの関わりについて理解するとともに、楽器の音や旋律の重なりが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	ロック マイ ソウル カノン ◎カノン	○「ロック マイ ソウル」をグループに分かれて歌詞唱する。 ○鑑賞曲「カノン」を聴いて、気付いたことを発表する。 ○「カノン」の各声部を演奏する。 ○「カノン」を8～10人ずつのグループに分かれて合奏し発表する。	【主-①】 「ロック マイ ソウル」の旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「カノン」の曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 各声部や全体の響きを聴きながら「カノン」を演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 楽器の音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、「カノン」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・10月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 楽器の音色や楽器同士の関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出す。	思考・判断・表現	楽器の音色や楽器同士の関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出す。				○
	(3) バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と、旋律や音色などとの関わりについて理解するとともに、楽器の音色や楽器どうしの関わり、旋律の反復や変化が生み出すよさなどを感じ取りながら、曲のよさを見出す。	◎バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章	○「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」の前半部を、曲の特徴やバイオリンとピアノの関わり合いに気を付けながら聴く。 ○音楽を形づくっている要素の関わり合いを体の動きで表し、曲の面白さや特徴を理解する。 ○曲想やその変化などの特徴や、音楽を形づくっている要素などとの関わり合いに気を付けて全曲通して聴き、気付きを交流したり感想をまとめたりする。	【知-①】 「バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】 バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 バイオリンとピアノの音色や二つの楽器同士の関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出す。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
豊かな表現を求めて (6時間扱い・10～12月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○	○		
			各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
	(3) 曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	明日を信じて	○「明日を信じて」の旋律の流れを捉え、歌詞との関わりを生かして歌う。 ○アイウの部分ごとに、どのように歌っていくか考えて二部合唱する。 ○合唱を仕上げ、響き合いを楽しみながら歌う。	【知-①】 「明日を信じて」の曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 【思-①】 「明日を信じて」の旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 各声部や全体の響き、伴奏を聴き、「明日を信じて」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。

3	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	L-O-V-E	○「L-O-V-E」の主旋律と副次的旋律の部分をつまみ演奏する。 ○各パートの音や役割を確認し、グループに分かれ、担当を決めて演奏する。 ○グループごとに発表したり、各グループを続けて演奏したりする。	【主-①】 「L-O-V-E」の曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「L-O-V-E」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-②】 「L-O-V-E」の旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
---	---	---------	---	---

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音のスケッチ＞ じゅんかんコードを もとにアドリブで遊ぼう (3 時間扱い・12 月)	(1) 旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。			○	
			【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付けている。			○	
	(2) 和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。	思考・判断・表現	【思-①】 和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。			○	
	(3) 反復するコード進行に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、循環コードの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 反復するコード進行に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
私たちの国の音楽 (4時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
			呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の特徴や反復と変化、声や楽器の音色、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律の特徴や反復と変化、声や楽器の音色、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いたりしている。	○	○		○
	(3) 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	旋律の特徴、歌声や楽器の音色が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	越天楽今様 (共通教材)	○「越天楽今様」のうたの旋律を、情景を思い浮かべ、呼吸や発音に気を付けて歌詞唱する。 ○グループに分かれて表現の工夫をしたり、全員で合奏したりする。	【技-①】 呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「越天楽今様」を歌う技能を身に付けている。 【思-①】 「越天楽今様」の旋律の特徴、声や楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。
2	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもつとともに、曲想と旋律や音色などとの関わりについて理解する。	◎春の海	○「春の海」を、雰囲気を感じ取り、楽器の音色に気を付けて聴く。 ○旋律の変化と再現に注目して聴いたり、曲全体を味わって聴いたりする。	【主-①】 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「春の海」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。

				【思-②】 「春の海」の旋律の特徴や反復と変化、楽器の音色や楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。
--	--	--	--	--

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音楽に思いをこめて 〈選択 A 「ふるさと」 ＋器楽〉 (3 時間扱い・2～3 月)	(1) 曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
			各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱や二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
1	曲想と、旋律の流れや歌詞との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ふるさと (共通教材)	○「ふるさと」を、旋律の流れやまとまり、歌詞との関わりを生かして二部合唱する。	【知・技-①】 「ふるさと」の曲想と、旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1 年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	Take Me Home, Country Roads (ふるさと)	○「Take Me Home, Country Roads」を、パートの役割を捉えて二部合奏する。 ○ペアやグループで発表し、学習を振り返る。	【主-①】 「Take Me Home, Country Roads」を音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「Take Me Home, Country Roads」の旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音楽に思いをこめて 〈選択B「ふるさと」 ＋歌唱〉 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律の流れなど音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
			各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
1	曲想と、旋律の流れや歌詞との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ふるさと(共通教材)	○「ふるさと」を、旋律の流れやまとまり、歌詞との関わりを生かして二部合唱する。	【知・技-①】 「ふるさと」の曲想と、旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	さようなら	○「さようなら」を、曲の特徴を捉えて二部合唱する。 ○自分たちのイメージに合う表現を工夫して歌い合わせる。	【主-①】 「さようなら」を、声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「さようなら」の旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌 唱	器 楽	づ 音 楽 く り	鑑 賞
<音のスケッチ> 役割を決めて音階を もとにした音楽を つくろう (3時間扱い・3月)	(1) もととする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割を、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 もととする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割を、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 【技-①】 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付けている。			○	○
	(2) 二つの音階の響きや各声部の役割を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出して聴いたりする。	思考・判断・表現	【思-①】 二つの音階の響きや各声部の役割を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出して聴いたりしている。			○	○
	(3) 役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、全音音階や黒鍵だけの5音音階に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜ジャズとクラシック 音楽の出会い＞ ラブソディー イン ブルー (2時間扱い・随時)	(1) 曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	【知-①】 「ラブソディー イン ブルー」の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。				○
	(2) 旋律やリズム、特徴的な楽器の奏法や、ピアノとオーケストラのかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見出して聴く。	思考・判断・表現	【思-①】 「ラブソディー イン ブルー」の旋律やリズム、特徴的な楽器の奏法や、ピアノとオーケストラのかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見出して聴いている。				○
	(3) ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ピアノとオーケストラによる音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目